

2025 年 6 月度例会を開催！

6 月 27 日(金曜日)夜、ホテルグランドアーク半蔵門にて、日本中華總商会 2025 年 6 月例会が開催され、上半期を締めくくる充実した会となりました。

冒頭、蕭敬如会長が登壇し、下半期もビジネスを基軸に、日中を橋渡しし、世界とつながるの理念のもと、実質的なプロジェクトの推進に注力する方針を表明。また人口危機・地域協力・組織進化の 3 つの視点から、商会の将来像を語りました。



続いて、東京大学名誉教授・藤原帰一氏が「トランプ時代の世界をどう生きるか一日中韓 ASEAN 協力の展望」をテーマに講演いただきました。米国の外交姿勢の変化や国際秩序の多極化を背景に、日本の新たな役割について示唆に富む提言を行い、参加者の関心を集めました。



委員会報告では、各委員会のビジネス交流イベントの実施企画、新規会員の増加（上半期 60 社）などが紹介され、各部会の活発な取り組みが報告されました。



日本中華總商会は、変動の時代においても連携と共創を基盤に、新たなビジネスの可能性を切り拓いています。